

# (仮称)滝野川西地区ブロック協議会 協議会だより

第1号

(平成15年9月発行)

## 《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@kitacity.jp

## 滝野川西地区の教育環境を考える協議会がスタートしました

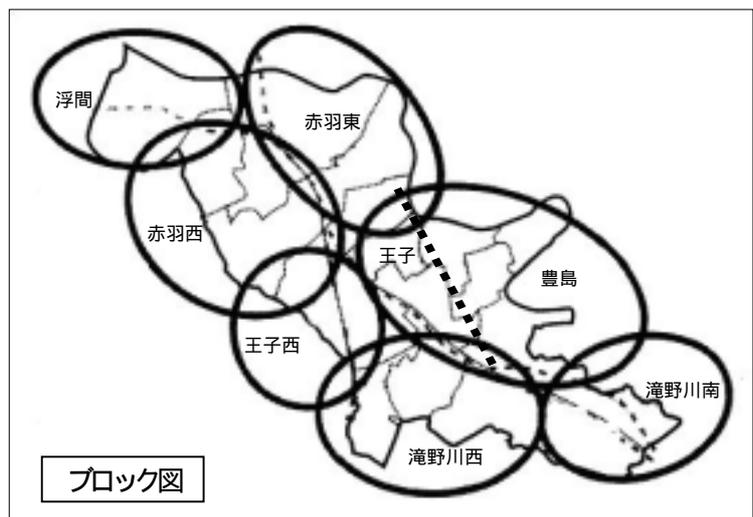
8月26日(火)滝野川東ふれあい館にて、第1回協議会を開催し、下記の事項を検討・審議のうえ協議会が発足しました。

- 1) 協議会の設置要綱が承認されました。
- 2) 協議会は、小中学校PTA会長、町会自治会長、小中学校長の計42名で構成します。
- 3) 協議会に幹事会を設け、構成は事務局に一任することとしました。
- 4) 座長は、幹事会で決定することとしました。
- 5) 協議会・幹事会とも公開とし、どなたでも傍聴できることとしました。

## 協議会とは

学校適正規模等審議会(第二次)答申を踏まえ、北区全体を7ブロック8地区に分け、各地区に協議会を設けることとしました。

本協議会は、滝野川西地区(紅葉中・飛鳥中・滝野川中・滝野川小・滝野川第二小・滝野川第三小・滝野川第六小・西ヶ原小・谷端小・紅葉小の通学区域)の地区全体で教育環境の整備 学校の適正配置 新しい学校づくり 等を考えていきます。



次回日程は事務局までお問合せください。

詳細は北区ホームページ (<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>) をご覧ください。

協議会資料は事務局および関係各校にあります。

滝野川西地区教育環境整備協議会

# 協議会だより

第2号  
(平成16年4月発行)

《事務局》  
教育委員会事務局  
教育改革担当部  
(電話) 3908-9271  
(Fax) 3906-8755  
(eメール)  
k-kaikaku@city.kita.  
lg.jp

## 滝野川西地区の望ましい中学校数を検討しています

幹事会では、平成20年度の推計値をもとにして滝野川西地区の中中学校3校(紅葉中・飛鳥中・滝野川中)を1校にした場合・2校にした場合のメリット・デメリットについて検討してきました。

多様な教育活動を確保していくためには、1校案が望ましいが、用地の確保が困難であることなどから、より現実的な2校案を前提にして検討を深めていくことになりました。

平成20年度におけるシミュレーション(平成15年8月東京都推計値より作成)

2校案A (紅葉中+滝野川中)

学年	1	2	3	計
生徒数	118	149	161	428(7)
学級数	3	4	5	12(1)
飛鳥中				
学年	1	2	3	計
生徒数	87	81	81	249
学級数	3	3	3	9

2校案B (飛鳥中+滝野川中)

学年	1	2	3	計
生徒数	144	157	161	462
学級数	4	4	5	13
紅葉中				
学年	1	2	3	計
生徒数	61	73	81	215(7)
学級数	2	2	3	7(1)

1校案(紅葉中+飛鳥中+滝野川中)

学年	1	2	3	計
生徒数	205	230	242	677(7)
学級数	6	6	7	19(1)

( )内数字は心障生徒数・学級数

参考資料

中学校名	校地面積	校庭面積
紅葉中	11324.78	6753
飛鳥中	9885.56	4354
滝野川中	9538.87	3832
単位: m <sup>2</sup>		

### 今までの開催経過

- 第1回協議会 平成15年 8月26日
- 第1回幹事会 平成15年10月27日: 今後の進め方について
- 第2回幹事会 平成15年12月 8日: 座長選出、今後の検討に向けて
- 第3回幹事会 平成16年 1月27日: 1校案・2校案の比較検討  
(1校案・2校案の長所・短所を比較検討しました)
- 第2回協議会 平成16年 3月 3日

詳細は北区ホームページ (<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>) をご覧ください。

協議会資料は事務局および関係各校にございます。

滝野川西地区教育環境整備協議会

# 協議会だより

第3号

(平成17年3月発行)

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@city.kita.l

g.jp

平成15年8月に第1回滝野川西地区教育環境整備協議会を開催して以来、約1年半にわたって滝野川西地区の教育環境向上について検討を重ねてきました。2月28日、第3回協議会において、これまでの経過を踏まえた「協議会報告」を確認、了承しました。

《協議会方針》

- (1) この地域の中学校数は2校とすることが現実的な方策であり、その場合は現飛鳥中と現紅葉中の位置に配置することが望ましい。
- (2) 将来にわたって活力ある学校とするためには、この地域の中学校は1校としたほうがより望ましいとする考え方もあるが、適当な用地の確保が難しい。
- (3) 学校適正配置の実施時期については、検討に至っていない。

開催経過

第1回協議会(平成15年8月26日)

学校適正規模等審議会第二次答申について 協議会の基本的な考え方  
滝野川西地区の現状

第1回幹事会(平成15年10月27日)

協議会設置要綱について

第2回幹事会(平成15年12月8日)

座長選出:鈴木 仲氏 今後の検討に向けて 望ましい学校数について

- ・外語大跡地を新しい学校の敷地とすることは困難で、既存の学校敷地で検討せざるを得ない。
- ・3校を1校にするのは地域が広すぎる。2校案は現実的にアプローチしやすい。
- ・選択教科の拡大や新たな教育の展開には、多目的スペースやゆとりある教室の確保と広い校庭が必要。

第3回幹事会(平成16年1月27日)

望ましい学校数の検討

- ・適正な通学距離を念頭に置くことは必要(中学校ではおおむね1.5km)
- ・地域の地盤低下を招かないためにも、早く魅力ある新しい学校づくりを進めるべき。
- ・通学距離に配慮して2校にしても、すぐ小規模化するのではないか。

第2回協議会（平成16年3月3日）

経過報告

- ・外語大跡地・醸造試験所跡地に学校建設が出来ないのなら、1校案は無理。
- ・3校存置は、さらに生徒数の減少を招き、保護者のニーズに応えられないなど、危機感を感じる。
- ・1校とすることが望ましいが、現実的に無理なら、2校案で話を進めるべき。

第4回幹事会（平成16年5月20日）

望ましい学校配置について

- ・学校配置を考えるうえで、生徒の安全のためにも通学距離が一番大事。

第5回幹事会（平成16年6月30日）

望ましい学校配置について

- ・3校合わせてもやっと適正規模だが、適切な土地がない以上、1校にするのは無理。
- ・2校案では将来適正規模を割る可能性がある。適正規模の確保は大きな意味があり1校案で進めなければ理想と違って来る。

第6回幹事会（平成16年7月28日）

望ましい学校配置について

- ・15学級は欲しいところだが、最低9学級は維持したい。
- ・9学級では統合する意味がない。
- ・ある程度の規模を確保し、その上で子どもたちに何が提供できるか、考えるべき。

第7回幹事会（平成16年10月29日）

望ましい学校配置について

第8回幹事会（平成16年12月16日）

望ましい学校配置について

第9回幹事会（平成17年1月20日）

望ましい学校配置について

- ・いろいろな思いはあるものの、多数意見は現実的な2校案に賛成（配置については飛鳥中と紅葉中の位置）であるが、多数決で決定するものではなく、少数意見も方針には併記していく。

第3回協議会（平成17年2月28日）

経過報告

今回の協議会方針をもって、この協議会を締めくくります。

この地域の中学校はこのままでよいのか、約1年半にわたって、議論を重ねてまいりました。必ずしも議論はスムーズではなく、特に幹事の皆さんには大変なご苦勞をいただく中で、今回の《協議会方針》となりました。

これまで熱心にご検討くださった委員の方々、ご協力くださった学校関係者や町会・自治会の皆様には、座長として、心から感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

滝野川西地区教育環境整備協議会

座長 鈴木 伸

詳細は北区ホームページ (<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaiaku/index.htm>) をご覧ください。

協議会資料は事務局および関係各校にございます。